

Q4

ヒト免疫グロブリンとの使い分けはどうするのですか。

A

A型肝炎ワクチンが開発されるまではヒト免疫グロブリンがA型肝炎の予防に用いられていました。しかし、ヒト免疫グロブリンは血液製剤であること、即効性はあるものの、投与後の抗体価がワクチン2回接種後と同等（100mIU/mL程度）で、有効抗体価の持続は14～18週と短いことなどから、あらかじめのA型肝炎の予防には通常ワクチンが用いられています。